

BPO サービス受託残高が 14 万件を突破

— スtock型収益基盤の拡大とともに、単月契約件数も過去最高を更新 —

当社は、セルフストレージ事業者向けに提供する滞納保証付 BPO サービスにおいて、受託残高が 2026 年 3 月末時点で 140,813 件となり、累計 14 万件を突破したことをお知らせいたします。

また、2026 年 3 月の新規契約件数は 3,812 件となり、これまでの過去最高であった 2023 年 3 月の 3,617 件を上回り、単月として過去最高を更新いたしました。

■ スtock型収益基盤の着実な拡大

当社の BPO サービスは、滞納保証を軸に、収納代行・督促・残置物対応までを一体的に提供することで、セルフストレージ事業者の運営負担軽減と収益安定化に寄与しております。

本サービスは、契約件数の積み上げにより安定的に収益が積み上がる「Stock型ビジネス」であり、今回の受託残高 14 万件突破は、当社の収益基盤が着実に拡大していることを示すものです。

■ 市場背景

近年、セルフストレージ市場の拡大に伴い、事業運営の効率化・外部委託ニーズは高まっており、当社 BPO サービスの導入が加速しております。

こうした環境の中、当社サービスは以下の付加価値が評価されています。

- ・滞納保証によるリスク低減
- ・運営業務の一括アウトソーシング
- ・DX による業務効率化

■ 中期目標 20 万件に向けた着実な進捗

このような市場環境の中、受託残高は継続的に伸長しており、2027 年 9 月期の目標である 20 万件に向け、順調に進捗しております。

当社は、2027 年 9 月期における受託残高 20 万件を中期目標として掲げており、本件はその達成に向けた重要なマイルストーンと位置付けております。

■今後の展開

当社は今後も、セルフストレージ事業者に対する付加価値の高いサービス提供を通じて、業界全体の発展に貢献してまいります。

また、デジタル化・業務効率化を支援する各種サービスとの連携を強化し、さらなる受託件数の拡大を目指してまいります。

以 上